

# 備後

# 教区報

第 166 号

2019(平成31)年2月1日

結ぶ絆から、広がるご縁へ  
-From tying bonds to great encounters-

## CONTENTS

- ◇ご門主さまが被災地へ
- ◇ご消息発布
- ◇備後教区重点プロジェクト
- ◇視点一「貧困の克服にむけて」  
DIC (ダーナ・インターナショナル・センター)
- ◇ルポー「教堂報恩講」
- ◇活動情報&インフォメーション



ご門主さまが備後教区内の被災地を訪問



# ご門主

## 「平成30年7月豪雨」の被災地を訪問

去る10月11日(木)、ご門主さまが「平成30年7月豪雨」で甚大な被害を受けた備後教区被災地を訪問された。

当日は、この度の災害で本堂及び庫裡床上浸水の被害を受けた笠岡市内の備中里組・本林寺(宇田忠夫住職)を訪問された。浸水被



害により畳からフローリングに張り替えられた本堂にて、住職より寺院、門信徒の被害報告、本林寺門信徒の下田幸子さんより倉敷市真備地区の被災状況報告をお聞きになりました。

ご門主さまは「私自身京都でも避難勧告のニュースが流れ、不安な中で過ごしていました。ましてや実際に被害を受けられた方々は、私たちが経験した以上の不安の中で過ごされ、その不安は時間がたつても消えることはないと思います。今後も宗門として被害を受けられた皆さまとともに歩んでまいりたいと思います。また、お寺が皆さまの支えとなり、依りどころとなる念仏道場としてその役割を果たすことを期待しています」と話され、被災された門信徒一人ひとりの手を取って、お見舞いの言葉をかけられた。ご門主さまの手を握り涙ぐむ門信徒の姿も見られた。

その後、小田川や支流の決壊

により町全体が浸水する甚大な被害を受けた倉敷市真備地区を車にて視察された。決壊箇所が見える高台や、アルミ工場爆発事故現場付近などでは一度車から降りられ、現場被害状況の説明に熱心に耳を傾けられた。



# ご親教 ご消息の発布

昨年11月22日～23日に本願寺にて秋の法要(全国門徒総追悼法要)が勤修された。23日午前の法要に引き続き行われたご親教で、専如ご門主は、若者をはじめとした方々を対象に「念仏者の生き方」の心を体したご教示「私たちのちかい」を述べられた。

また本年、1月9日御正忌報恩講法要初日の速夜法要に続いて「親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年」についてのご消息」発布式が行われた。



## 「私たちのちかい」についての親教

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめました。

### 私たちのちかい

- 一、自分の殻に閉じこもることなく  
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします  
微笑み語りかける仏さまのように
- 一、むさぼり、いかり、おろかさにながれず  
しなやかな心と振る舞いを心がけます  
心安らかな仏さまのように
- 一、自分だけを大事にすることなく  
人と喜びや悲しみを分かち合います  
慈悲に満ちみちた仏さまのように
- 一、生かされていることに気づき  
日々精一杯つとめます  
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思います。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

二〇一八(平成三十)年十一月二十三日

浄土真宗本願寺派門主 大谷 光 淳

## 親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年についての消息

来る二〇二三年には、宗祖親鸞聖人のご誕生八百五十年、また、その翌年には立教開宗八百年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、二〇二三年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安三年・一一七三年にご誕生となり、御年九歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられました。二十九歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となられ、阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後にご流罪になられ、赦免の後は関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味でご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によって、その成立を親鸞聖人五十二歳の時、すなわち元仁元年・一二二四年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約二千五百年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われのないおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちをそのままに救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿弥陀如来であることを教えてくださいました。そして、親鸞聖人は、この阿弥陀如来の願いが、南無阿弥陀仏のお念仏となつてはたらく続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそがれ、自己中心的な考え方ができない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大な慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。しかし、この慚愧の思いは、阿弥陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿弥陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心につながる生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に沿う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生八百五十年ならびに立教開宗八百年の慶讃法要をともにお迎えいたしましょう。

平成三十一年

一月九日

二〇一九年

## 備後教区重点プロジェクト

2012年4月よりスタートした御同朋の社会をめざす運動(実践運動)は本年度より3期目を迎え、備後教区においても新たな重点プロジェクトを策定した。今期より宗門全体として取り組む実践目標「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～」—子どもたちを育むために—とともに、これまでの教区独自の取り組みを継続する実践目標の2つを掲げ推進していく。なお、今期は教区役職者任期との整合性を図るため、推進期間を2年とし、次期(第4期)より4年の推進期間となる。

### 備後教区重点プロジェクト①

- ◆スローガン 結ぶ絆から、広がるご縁へ
- ◆実践目標 「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～」  
—子どもたちを育むために—
- ◆達成目標 貧困問題について学びを深める
- ◆推進計画 【2018年度】  
教区及び組において学習会を開催し、課題克服に向けて協議する  
【2019年度】  
課題克服に向けて、協議した内容を具体化し、実践する

### 備後教区重点プロジェクト②

- ◆スローガン 結ぶ絆から、広がるご縁へ
- ◆実践目標
  - ・門信徒と僧侶が一体となって浄土真宗のみ教えを広める
  - ・現代の伝道の在り方を工夫し、実践する
  - ・念仏者として非戦平和・人権尊重の活動を進め、その思いを伝える
- ◆達成目標
  - ・門信徒と僧侶が連携し、共にみ教えを学び、深め、伝えていく場を提供する(組実践運動推進協議会の充実、全組連研開催、中央教修奨励、門信徒のつどい拡充)
  - ・これまでご縁の少なかった人に対して、ともに歩んでいく実践運動を展開し、浄土真宗のみ教えを伝える。併せて、時代に相応した新たな広報手段を駆使し、より広くみ教えを発信していく
  - ・今を新たな戦前にしないため、非戦平和の営みに学び、戦争とは？人権侵害とは？について学びを深めることで、念仏者として何が発信できるかを考え、次世代につなげる
- ◆推進計画 【2018年度】  
達成目標にある事項を具体化・実践し、点検する  
【2019年度】  
達成目標にある事項を具体化・実践し、点検する

# 視点

## 「貧困の克服に向けて」の取り組み①

ダーナ・インターナショナル・センター(DIC)  
インドやネパール在住のチベット難民への支援

前頁で報告した通り、今期より宗門全体として取り組む実践目標「貧困の克服に向けて」(Dana for World Peace)「子どもたちを育むために」を備後教区重点プロジェクトとして取り組むこととなった。教区内においてすでに長年にわたり支援活動を行っている団体をシリーズとして紹介する。今回は、インドやネパール在住のチベット難民へ支援活動されているDIC(ダーナ・インターナショナル・センター)を紹介する。

DICの活動は、備後教区の北部の住職有志による取り組みで、インドやネパール在住のチベット難民へ支援活動を行っている。昭和40年代後半に白鶴会が企画した浄土真宗仏跡巡拝団でインド・ネパールの仏跡訪問をした際に出会ったチベット難民の子ど

もたちに文房具などの教育支援を始めました。参加者を中心に「ネパール在住チベット仏教徒難民支援の会」というグループを立ち上げて、その後10年間支援活動を継続していました。交流が続いていたカトマンズのチベット難民の学校に校舎を寄贈したことをきっかけに「救済の会」を閉じて、新しくDICを設立して幅広く活動することになりました。以来今日まで約30年間チベット難民に対する支援活動を継続して、います。DICになりまして、インドのチベット難民キャンプ(マハラシュトラ州)への病院施設の寄贈や、水道施設(オリッサ州にあるキャンプ)を建設するための費用の送金など、さまざまな支援を行っています。ネパールの方には、チベット難民社会の自治組織であるスノー・ライオン・ファンデーション(ネパール在住チベット難

民社会の医療・教育・福祉を担っている)に抗結核剤購入資金を送金し、その後継続して支援していますし、校舎を寄贈した学校には教育資金を毎年贈っています。その他の支援としては、ネパールのチベット難民キャンプの中には農業を始めたキャンプもあり、農業がスタートできる資金支援や、発電機を贈った学校もあります。またエベレストに近いキャンプの学校には校舎の修理費用などこうした単独支援事業もありました。最近では、2018(平成30)年3月に、宗派が設立母体となるNPO法人JIPPOと共同で、チベット難民の学校で生徒との交流や、チベット問題、ネパール女性の人身売買被害者の復帰施設を訪ねて人権問題を考えるためのスタディーツアーも実施しました。(文章・DIC事務局 定光大燈)

補足||2011年に広島国際文化財団より「第13回国際交流奨励賞」を表彰される



▲ダライラマ法皇との拝謁時のお写真



▲DIC最初に支援した学校の様子、学校建設当時の学生が校長になっておられた

# ルポ

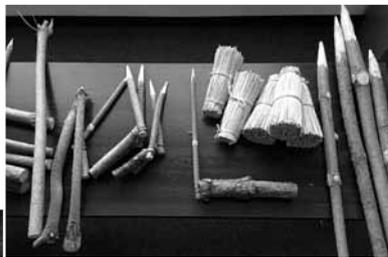
フェイスブック等のSNSで  
 門信徒の皆さまによる草刈り、  
 仏具のおみがき、仏華等の投稿  
 を見ることがよくある。改めて  
 お寺の教化活動は多くの方の支  
 えで成り立っていることを知ら  
 される。備後教堂においても、  
 毎月の常例法座、毎年11月に勤  
 修される備後教堂報恩講法要  
 も、多くの方々のご助力をいた  
 だいて勤修されている。今回、  
 備後教堂報恩講法要に向けての  
 準備の様子を紹介する。

教区仏婦連盟常任委員の方々に  
 は、11月20日(火)午前中に仏具  
 おみがき、また堂内の障子紙張替  
 えを行っていただいた。  
 仏婦常任委員が例年行っている

輪灯や花瓶など仏具の洗浄のほか、  
 役員の厚意により障子紙の張  
 替えを行った。20枚以上もある教  
 堂本堂の障子は、日光による変色  
 や部分的に補修している箇所が目  
 立っていたが、今回の張替えによ  
 りすべての障子が真新しい状態に  
 なった。役員からは「本堂が明る  
 くなつて気持ちいい」等の声があ  
 った。

仏華は、教区内有志による仏華  
 会の方々に、毎年立華をいただい  
 ている。本願寺の仏華を生ける(旬  
 花新の水本会長指導のもと、およ  
 そ3日間かけて、本年度も立派な  
 仏華をおそなえいただいた。

▲仏教婦人会連盟常任委員による報恩講にむけての準備



3日間かけて仏華が活けられる

# News & 活動情報



## 臨時教区会が開催される

### 教区会

10月24日、備後教堂において平成30年度臨時教区会が開催された。平成29年度教区各種会計決算について、事務局が説明したのち採決がなされ、議案すべてが承認された。次回教区会は、平成31年度予算等の審議のため、3月19日に定期教区会を予定している。

## さらなる充実を目指し

### 連 研

去る9月7日、本願寺備後教堂にて連研のための研究会を開催した。当教区内においては、16組全組での連研開催は達成されたが、現在は休止になっている組も多く課題は多い。

当日は組長、各組連研担当者、教区内連研修講師、門徒推進員や門信徒部会委員等22名に参加いただき、テーマ「連研再開に向けて」のもと、講師に熊谷正信連研中央講師にお越しいただき、各組の取り組みやノウハウ、問題点を共有し、再開に向けた打開策について、また連研のさらなる充実を目指し話し合い等行った。



▲熊谷正信講師



## 情報共有の場に

### ビハーク

9月14日、ビハーク備後主催によるビハーク活動団体・活動者のつどい(午前)、ビハーク活動研修協議会(午後)を本願寺備後教堂にて開催した。

講師に、三次組専正寺・深水顕真住職(文教女子大学非常勤講師、三次看護学校・皆実高校看護科非常勤講師)をお招きして、午前中は、教区内でビハーク活動に取り組みされている方々の情報共有の場にご同席頂いた。午後よりの研修協議会には「頑張るターミナル」と題してお話を頂き、18名の参加者が学びを深めた。



▲ビハーク活動研修協議会

## 発声法や所作を学ぶ

### 勤 式

9月28日、本願寺備後教堂において前期勤式研修会を開催した。講師に、近松照俊名誉侍真(勤式指導所講師)をお迎えし、「聲明力は仏法なり」をテーマに、導師・調声人における発声方法や所作、心構えについてご教授いただいた。講義では、句頭における清・濁音について発声時にそれぞれ意識するなど、多岐に渡りご教示をいただき、参加者は熱心に耳を傾けた。



▲近松照俊講師



# 布教団

## 青年布教使大会

9月19日、沼隈南組南泉坊(岡部正顕住職)の秋季彼岸会・永代経法要に併せて「青年布教使大会」が開催された。

多くのお同行が聴聞される中、青年布教使の研鑽の場として、大変有意義な大会となった。

出講者は次の通り(敬称略)

- 季平願生(御調束組法光寺)
- 定光淳(比婆組西楽寺)
- 伊川大慶(三次組西覺寺)
- 藤井義英(副団長 比婆組西教寺)

## 第四連区青年布教使研修会

10月1日〜2日にかけて、出雲ロイヤルホテルにおいて第四連区青年布教使研修会が開催された。備後教区布教団員より13名の参加があった。

初日は、鷺浦説教所並びに鶴峠説教所に分かれて各教区布教団より2名ずつの実演布教があった。

2日目、参加者は吉崎哲真同朋講師(布教団連合連区研修会)の



▶連区青年布教使研修

研修を受けた後、北山祐章副団長(沼隈南組光源寺)より「これからの布教使として」をテーマに講義を頂き、学びを深める研修会となった。

出講者は次の通り(敬称略)  
山下瑞円(奥組浄福寺)  
島津恵航(世羅組正満寺)



▲特別布教大会

## 特別布教大会

11月19日、比婆組西念寺(栗原尚道住職)報恩講法要に併せて、特別布教大会が開催された。

この特別布教大会は、教区内の寺院に会所の依頼をさせていただき毎年開催されている。

出講者は次の通り(敬称略)

- 石川知全(沼隈西組正圓寺)
- 川上順之(神石組法泉寺)
- 千葉隆誓(芦田組光明寺)
- 三條義見(鴨川北組圓福寺)
- 佐々木至成(鴨川北組照専寺)
- 北山祐章(副団長沼隈南組光源寺)

## 原子力に関する諸問題を学ぶ

### 同朋社会部

環境問題・人権問題現地学習会の一環として10月29日〜30日にかけて、原子力発電所に関する諸問題を学ぶため福井県に赴いた。

1日目、明通寺・中島哲演住職(真言宗御室派) (福井から原発

を止める裁判の会」代表)よりお話を伺い、一路、小浜へ移動した。

2日目は、妙壽寺・南眞琴住職(福井教区若狭組)よりお話を頂き、その後、美浜にある美浜原子力PRセンターにて原子力発電の仕組み等を学んだ。参加者にとつて、多方面から原子力発電所を巡る諸問題について考える機会となった。



▲南眞琴住職よりお話を聞く



▲高速増殖原型炉もんじゅ

## 第23回平和のつどい

### 同朋社会部

10月17日、備後教区「第23回平和のつどい」が神辺文化会館大ホールで開催され、「全戦争犠牲者を偲んで平和を築く道」をスローガンに全戦争犠牲者追悼法要が勤修された。続いて講演では、寺尾文尚理事長（社会福祉法人ひとは福祉会）が『知的な障がいのある仲間』と共にめざす、真に「平和」な社会」と題し、本当の仲間とは？ 真の平和な社会とは？ について語られた。ご自身が本願寺派寺院（安芸教区）の生まれであり、親鸞聖人のお念仏のみ教えのうえから、「ゆたらかに」を合言葉に御同朋の立場で福祉を語られる姿が印象的だった。参加者は270名。担当組は鴨川組、鴨川北組、芦田組、神石組。



▲寺尾文尚講師



## カルトの危険性について

### 総代会

本年度門徒総代研修会を11月5日（高梁総合文化会館）、11月6日（三次CCプラザ）と、2日間の日程で開催された。ご講師に日本脱カルト協会理事の棚原正智先生をお招きし、「カルトの諸相について」というテーマのもとお話をいただいた。

いたるところにカルトの勧誘は潜んでいる。まず家庭の中で一度入ってしまうと脱会は非常に困難であること、カルトの危険性について語り合ったり、浄土真宗の門徒であることを共有することの大切さを学んだ。

また、2日間の研修会にて参加



▶棚原正智講師

者より平成30年7月豪雨に對する義援金9,731円のご支援をいただいた。

# 教区月報

2019

|    |     |                          |
|----|-----|--------------------------|
| 8月 | 1日  | 現地緊急災害対策本部会議・現地視察        |
|    | 11日 | 教堂常例法座                   |
|    | 22日 | 世界仏婦大会説明会                |
|    | 23日 | 同朋社会部会                   |
|    | 24日 | 同朋三者懇話会合同学習会             |
|    | 27日 | 保育連盟実行委員会公聴会             |
|    | 28日 | 得度考查                     |
|    | 29日 | 青年布教使実習                  |
|    | 31日 | 中四国地区仏教婦人会連盟大会（30日 徳島）   |
| 9月 | 5日  | 広報伝道各専門部会                |
|    | 9日  | 第19回真宗講座                 |
|    | 6日  | おつとめ教室・勤式練習会             |
|    | 7日  | 連研のための研究会                |
|    | 11日 | 常備会                      |
|    | 13日 | 教堂常例法座                   |
|    | 14日 | 第二回平和のつどい実行委員会           |
|    | 18日 | ビハークラ研修協議会               |
|    | 21日 | ご縁づくり実行委員会               |
|    | 25日 | 仏婦連だよりお寺訪問<br>(沼隈西組 常泉寺) |
|    | 25日 | 憲法問題学習会                  |

### 教室にて帰敬式が執行される

本年度報恩講法要に併せて、教室では初めての帰敬式を11月29日(木)本堂にて執行された。

当日は、門信徒11名が帰敬式を受式され、照明を落とし、厳かな雰囲気の中、御手代よりおかみそりをいただいた。

式中は緊張な面持ちであったが、式が終了し、おひとりずつに法名をお渡しした後の笑顔がとても印象的であった。

帰敬式の後は、本年度報恩講師の藤澤信照先生がご法話をされた。今後も報恩講法要に併せて帰敬式が執行されるよう検討していきたい。



厳かな雰囲気の中  
帰敬式が執行される



## お坊さんステーション

パソコン、スマートフォンでも聴けます

「エフエム福山」で検索



左側に表示される「サイマルラジオ」をクリック

Radio BINGO  
FM77.7MHz

放送時間

月曜…午後6:10頃

木曜…午後6:10頃

|                        |     |                     |                          |                              |              |      |       |         |         |     |                     |             |              |       |            |          |     |         |         |
|------------------------|-----|---------------------|--------------------------|------------------------------|--------------|------|-------|---------|---------|-----|---------------------|-------------|--------------|-------|------------|----------|-----|---------|---------|
| 5日                     | 11月 | 31日                 | 29日                      | 27日                          | 26日          | 24日  | 23日   | 19日     | 18日     | 17日 | 16日                 | 11日         | 5日           | 4日    | 3日         | 2日       | 10月 | 28日     |         |
| 門徒総代会研修会<br>(高梁総合文化会館) |     | 全国教師大会<br>(1日 広島管区) | 環境・人権問題現地学習会<br>(30日 福井) | 第4連区門徒推進員実践運動研修会<br>(28日 山陰) | 同朋三者懇話会合同学習会 | 得度考査 | 臨時教区会 | 仏婦会員研修会 | 寺院振興委員会 | 組長会 | 少年連盟役員会<br>(12日 山陰) | 第4連区ビハークラ集會 | 現地緊急災害対策本部会議 | 門信徒部会 | ご縁づくり実行委員会 | 第20回真宗講座 |     | 前期勤式研修会 | 同朋社会部会・ |

# Information

## ◆少年連盟こども大会 ウォークラリー

期 日：2019(平成31)年3月29日(金)

会 場：沼隈南組 善行寺 鞆の浦周辺

参会費：1,000円

(弁当代含む)

対 象：小学校1年生から6年生

(新1年生を含む)



## ◆第16回世界仏教婦人会大会サンフランシスコ大会 団体参加者募集!

2019年8月30日(金)~9月1日(日)の2日間、アメリカのサンフランシスコにて第16回世界仏教婦人会大会が開催されます。教区では大会前後日を含む団体ツアーを設定し、随時参加者を募集しております。

旅行期間：2019(平成31)年8月29日(木)~9月5日(木)  
6泊8日

参 加 費：476,000円

(大会参加登録費\$US350及び燃料サーチャージ28,000円別途必要)

対 象 者：仏教婦人会連盟単位会員、寺族の方

概 要：2019(平成31)年8月31日~9月1日に米国サンフランシスコ市内にて開催される「第16回世界仏教婦人会大会」に備後教区仏教婦人会連盟が団体参加をいたします。

『教区報』の編集にあたり、皆様のご意見  
やご感想、情報の提供をお待ちしていま  
す。教区報専門委員会まで、ご一報くだ  
さい。

TEL (084) 924-5759

fax (084) 931-9323

メールアドレス

[h2012@bingo.gr.jp](mailto:h2012@bingo.gr.jp)

ホームページアドレス

<http://bingo.gr.jp/>

|    |    |    |    |    |    |   |   |
|----|----|----|----|----|----|---|---|
| 30 | 29 | 20 | 13 | 12 | 11 | 8 | 6 |
| 日  | 日  | 日  | 日  | 日  | 日  | 日 | 日 |
| 備後 | 備後 | 仏婦 | ビ  | お  | 教  | 同 | 〃 |
| 後  | 後  | 婦  | ハ  | つ  | 堂  | 朋 | ( |
| 教  | 教  | 役  | ー  | と  | 常  | 三 | 三 |
| 堂  | 堂  | 員  | ハ  | め  | 例  | 者 | 次 |
| 報  | 報  | 会  | ー  | め  | 法  | 懇 | 次 |
| 恩  | 恩  | (  | ラ  | 教  | 座  | 話 | C |
| 講  | 講  | 寿  | 実  | 室  | (  | 会 | プ |
| 法  | 法  | 園  | 践  | ・  | 広  | ) | ラ |
| 要  | 要  | (  | 学  | 勤  | 島  | 〃 | ザ |
|    |    | 相  | 習  | 式  | 別  |   |   |
|    |    | 扶  | 会  | 練  | 院  |   |   |
|    |    | 園  | 習  | 習  |    |   |   |
|    |    |    | 会  | 会  |    |   |   |

今後の予定

2月

- 4日 教区僧侶研修会(御調東組 照源寺)  
布教団連絡協議会(～5日広島別院)
- 6日 おつとめ教室・勤式練習会
- 7日 同朋三者懇話会(福山人権交流センター)
- 11日 教堂常例法座
- 12日 門信徒のつどい(ご縁づくり公開講座併催)
- 13日 仏婦役員会
- 14日 後期勤式研修会
- 26日 自死を考える研修会
- 27日 布教団臨時総会  
実践運動部門別研修会

3月

- 1日 連研履修者のつどい
- 3日 ほほえみ講座

- 7日 第21回真宗講座  
教化連絡協議会(～8日四州教区)
- 11日 教堂常例法座
- 13日 おつとめ教室・勤式練習会
- 15日 教堂参与会・聞法会
- 18日 貧困克服に向けた研修会
- 19日 定期教区会
- 25日 得度習礼講習会(～26日)
- 28日 ハンセン病現地学習会(長島愛生園)  
組長会
- 29日 少年連盟ウォークラリー大会

4月

- 10日 おつとめ教室・勤式練習会
- 11日 教堂常例法座
- 12日 仏婦連盟総会・幹部研修会
- 14日 仏壯連盟総会・研修会

# Information

教区行事  
と皆様の参加をお待ちしております

## 教区仏婦連盟総会・幹部研修会

期日：2019年4月12日(金)

会場：学びの館ローズコム

講題：「合わされる手、開かれる心ーご親教をいただいてー」

講師：安部敏孝住職(安芸教区高田東組圓光寺)

## 教区仏壯連盟総会・研修会

期日：2019年4月14日(日)

会場：本願寺備後教堂

講題：「合わされる手、開かれる心ーご親教をいただいてー」

講師：安部敏孝住職(安芸教区高田東組圓光寺)



### 得度許可

おめでとう  
ございます  
〔敬称略〕

芦田組 西教寺

長 真莉奈 (釋真裕)

御調西組 順勝寺

田坂美保子 (釋智妙)

(平成30年10月15日付)

### 教師授与

おめでとう  
ございます  
〔敬称略〕

三次組 東光坊

坂原 英皓 (釋英皓)

三次組 照林坊

明山 晃大 (釋晃大)

御調東組 最圓寺

三浦 敬雅 (釋鳳祐)

(平成30年8月28日付)

比婆組 金秀寺

西本 照眞 (釋照眞)

(平成30年11月13日付)

### 敬申

お悔やみ申し  
上げます  
〔敬称略〕

三谿組 法專寺 前坊守

加藤 節子 (10月11日寂)

御調東組 金剛寺 前坊守

金岡 全子 (11月9日寂)

中組 光栄寺 前坊守

佐藤 蓮子 (11月22日寂)

沼隈西組 光讚寺 前住職

賞雅 哲雄 (12月4日寂)

世羅組 真徳寺 住職

三浦 智見 (12月13日寂)

沼隈西組 萬福寺 前坊守

松林 慈子 (1月8日寂)

沼隈西組 法性寺 前住職

柳本 典雄 (1月9日寂)

芦田組 妙泉寺 前住職

箱田美穂子 (1月14日寂)

沼隈西組 淨泉坊 衆徒

有木 亀子 (1月20日寂)

### 香典返礼

ありがとうございます  
ございます

御調東組 福善寺 様

三谿組 法專寺 様

中組 光栄寺 様

より香典返礼を頂きました。



浄土真宗の  
宗祖親鸞聖人  
のご命日が1  
月16日。この  
各地の真宗寺院  
で御正忌報恩講  
の法要が勤まり  
ます▲自坊の  
報恩講法要が勤  
まった夕方、ご  
近所の方が、お  
裾分けとお持ち  
くださったのが、  
活きのいいワタ  
リガニ。うちに  
は小学一年生を  
筆頭に、三人の  
息子がいますが、  
元氣一杯のワタ  
リガニに大興奮。

## 本願寺備後教堂 (毎月11日) 常例法座案内

3月 三次組 西善寺 出講者 (敬称略)

「社会は鏡、『法』は

『正気』に帰る道しるべ」

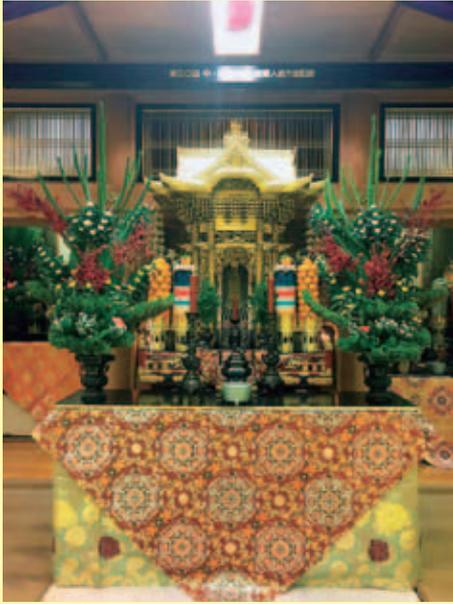
4月 沼隈西組 大東坊 那須智雄

「終わりのないいのち」

5月 鴨川北組 照専寺 佐々木弘海

「如来の大悲に抱かれて」

生きた食材を調理することを苦手とする若坊守。普段全く料理をしない私が、まさかの調理を担当することに。インターネットでレシピを調べ、白ワイン蒸しに挑戦。超絶美味。翌朝は、若坊守がカニ汁を作りくれました超絶美味。大変美味しくいただきました▲元氣一杯に生きていたカニが調理される光景に、三歳の三男坊が、「おとーしゃん、カニが可哀想じゃが!」「いのちじゃが!」と。私は「そーよな、いのちよな」「けど、いつもこーちゃんやおとーしゃんが食べているお肉やお魚も同じいのちなんよ」「家族みんな、いのちをいただかんと生きていけんよな」「こーちゃんが感じていける可哀想の気持ち、これからも大事にしよな」と言う三男坊は何か考えている様子▲「よしっ!今日はこーちゃんがいただきますの号令して」と言う「うん、わかった」と言い三男坊がいつもより大きな声で、「手と手を合わせましょー!」「いただきますしゅー!」▲家族一同、改めていのちに感謝する機縁をいただいた、報恩講の夜でした。(Z・Y)



# f 特集 feature articles

## 備後教堂 報恩講法要

11月30日(金) 備後教区報恩講法要を勤修し、延べ135名の方々が参拝された。  
午前の初座法要では、大師影供作法を、午後からの満座法要では広文類作法を依用し、出勤結衆や奏楽員、参拝者の皆さまと共に、お勤めされた。満座法要後には、

藤田徹信教区勤式指導員による御伝鈔の拝読がされた。  
この度のご講師には行信教校講師・藤澤信照本願寺派布教使(滋賀教区蒲生上組浄光寺)より『親』によばれてー浄土真宗のお念仏』と題し朝席、昼席とお取り次ぎいただいた。昼休憩にはボーモリーズの皆様による仏教賛歌の披露や、僧侶表彰式が行なわれた。



### ◆僧侶表彰者(敬称略)

#### 住職在職30年表彰

沼隈西組 堅中寺 日照真悟  
御調束組 正立寺 菅近憲文

#### 僧侶90歳表彰

深津組 光蓮寺 仁科壽子  
深津組 正善寺 藤井皓由  
沼隈西組 光讚寺 中古浄恵  
比婆組 光善寺 福間典子  
御調束組 無量寺 深水昭善  
御調西組 正明寺 沼隈真澄  
世羅組 浄楽寺 栗原恵覺